

幼児施設・学校教室・福祉施設用高弾性仕上材

HP PREBORD G-50

弾性フロア

人にやさしい 『直貼りフローリング』できました。

歩いていると足が疲れる… 転んで大きなケガをする…
これは、屋外だけで起こることではありません。

HP プレボード G50 は、
従来の直貼りフローリングでは出せなかった衝撃吸収性を持ち、
足腰への負担や、転倒事故の危険を軽減。
遊び盛りのお子様や、足腰の弱いお年寄りにやさしい床材です。



Hokkaido Parquet

幼児施設・学校教室・福祉施設用高弾性仕上材

HP PREBOARD G-50

弾性フロア

人にやさしい『直貼りフローリング』できました。

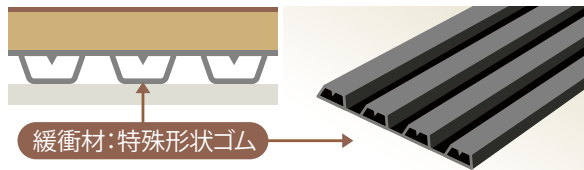
歩いていると足が疲れる… 転んで大きなケガをする…
これは、屋外だけで起こることではありません。

『HPプレボード G50』は、

従来の直貼りフローリングでは出せなかった衝撃吸収性を持ち、足腰への負担や、転倒事故の危険を軽減。
遊び盛りのお子様や、足腰の弱いお年寄りにやさしい床材です。

『HPプレボード G50』って、どんなフローリング？

特殊形状の新開発クッションゴムの緩衝効果により、適度な衝撃吸収性（二重床同等の安全性）を有する「直貼りフローリング」です。



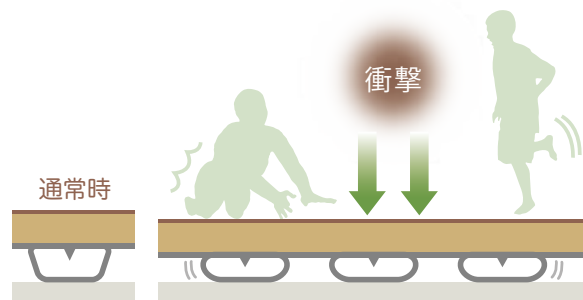
Performance 安全性能

従来の直貼り床に比べ、歩行感・転倒時の安全性がアップ!!

福祉施設や幼稚園、保育園などの
転倒事故が心配な場所におすすめです。

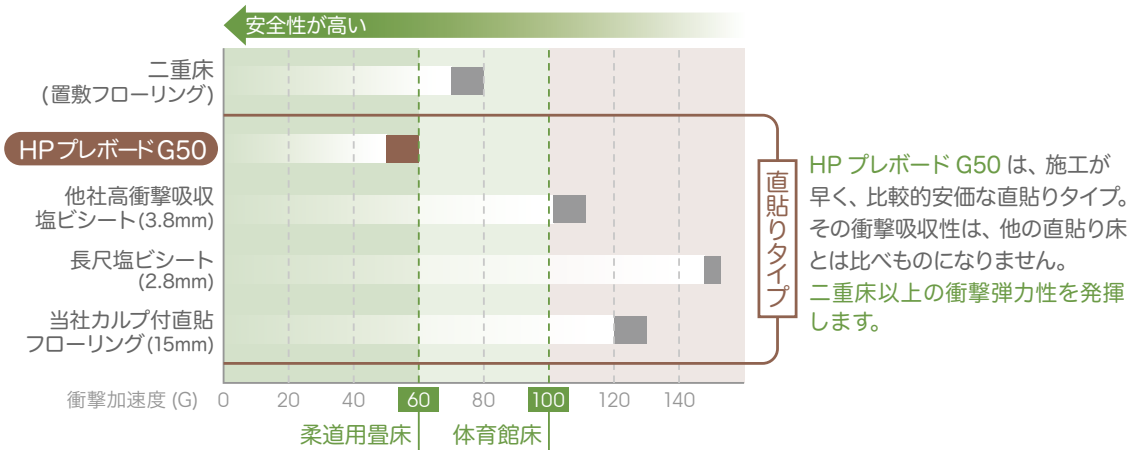
「室内で転んで骨折」という話は以外と多く聞きます。
ところが、激しい運動をする体育館で大怪我が少ない。
これは、衝撃吸収性のある床（JIS規格で定められた範囲内）だから。

HPプレボード G50 は、リップ部の弾性と座屈により衝撃を吸収、体育館床以上の衝撃吸収性を備えています。



JIS規格に基づいた「安全性試験」を行いました。

■床の硬さ性能試験の結果



転倒時の安全性は、JIS規格「床の硬さ試験※」の体育館床の規格範囲（100G）を充分満たし、柔道用畳床（60G）の範囲内。足腰の弱いお年寄りや、小さなお子様にやさしい安全設計です。

※JIS A 6519 (体育館用鋼製床下地構成材) の床の硬さ性能試験

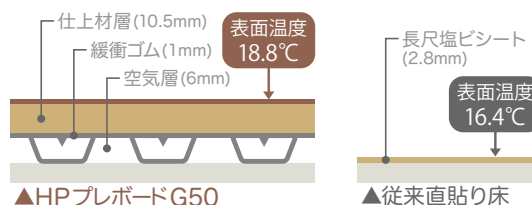
●試験方法 / JIS A 6519 所定の試験方法 (床の硬さ試験は人間の頭部をモデル化した床の固さ測定装置で測定します)

●測定時期 / 2004年、2007年 ●測定機関 / 当社試験室

Performance 保温性能

緩衝層内の空気の効果により、保温性が向上できます。

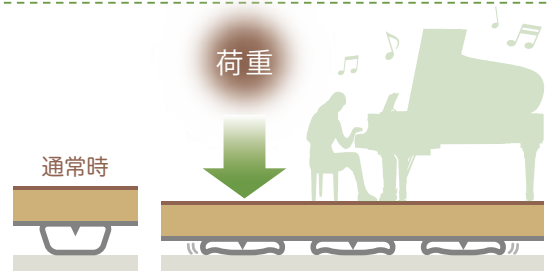
室内温度を 20℃、コンクリート表面温度を 15℃と想定して表面温度を算出した結果、長尺塩ビシートに比べ保温性は 2.4℃向上します。



■耐加重性能

局部荷重・積載荷重による強度性能は、一般的な住宅用二重床と同等!!

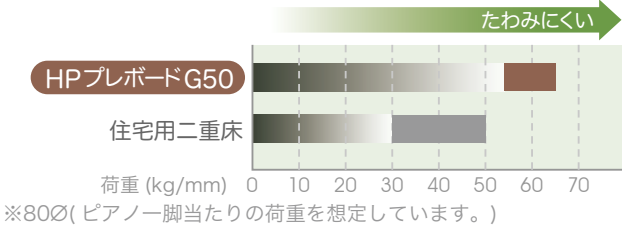
緩衝ゴムの突起部が、スラブ面に接しストッパー機能を発揮。大型家具や人の重みなどのできる「たわみ」を抑え、たわみが原因で起こる床鳴りや、変形を軽減する耐加重強度を有しています。
家具店、ピアノ教室、学校教室など、床に大きな荷重がかかる場所におすすです。



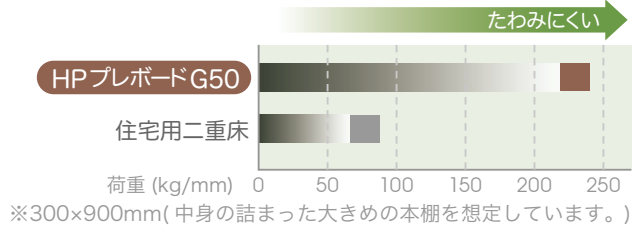
床剛性実験結果

※床剛性=床が1mm たわむのに必要な荷重を表しています。

■局部荷重による床剛性



■積載荷重による床剛性



■耐久性



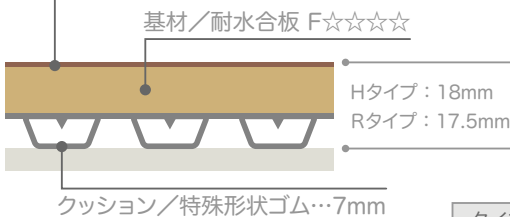
バンガマシン※の 10,000 回落下による衝撃後も、材料の破壊などの異常は見られず、弾力性・歩行感もほとんど変化しないことが確認されています。

※バンガマシン=JIS A1418-2 にて規定されている、衝撃力ピーク約 4,000N の標準重量衝撃源で、子供の飛び跳ねに近い衝撃力特性を再現できます。

■基本構造・形状

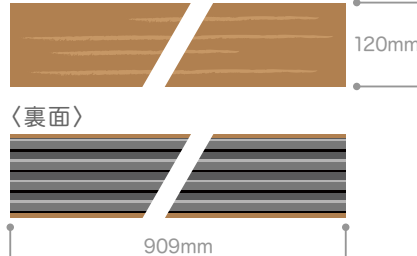
〈長さ〉

仕上げ塗装/特殊コーティング
表面材/Hタイプ:天然木ひき板2mm単板
Rタイプ:天然木ロータリーレース2mm単板

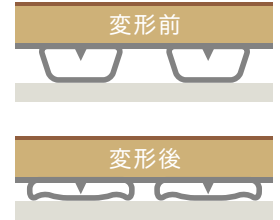


表面材には2mmの厚単板を使用。天然木ならではの質感を表現します。また、表面のサイディング(要再塗装)も可能です。

〈表面〉



〈FEM解析図〉



タイプ	単板厚	寸法	型番	入数	表面材(樹種)
Hタイプ	2	120×909×18	DJ1293	24枚	直張りタイプひき板3P(カバ・ナラ)
Rタイプ	2	120×909×17.5	DJ1291	24枚	直張りタイプロータリーレース1P(カバ)

※日本農林規格(複合3種フローリング) JPIC FL・35

■環境対応

公的機関による試験によって確認された、F☆☆☆☆の低ホルムアルデヒド品を標準仕様としております。

また、VOCについては、07年8月建材試験センターより発表された「建材からのVOC放散基準(案)※1」で対象とされる4物質(トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン)に関しても、最高グレードの基準値を下回ることを確認しております。※2

※1:平成20年4月1日制定予定(建材からのVOC放散速度基準化研究会による)

※2:JIS A 1901「小型チャンバー法」において第三者機関が測定・分析を行った結果です。

■ゴム臭気について

当社配合ゴムをサンプルとして実施した、臭気測定認定事業所による官能試験(パネラーは9名の臭気判定士)の結果から、2.7m×2.7m(約四畳半)の大きさの室内床全面に当ゴム製品を施工した場合の臭気強度は、「0.7」程度と推定されます。

この数値は、6段階臭気強度表示法による「においの程度」は尺度では「無臭」~「やっと感知できるにおい」の間と評価され、室内ではほとんどゴム臭は感じられないと判断できます。

【HPプレボードG50】に使用している緩衝ゴムの臭気は、サンプリングした配合ゴムよりも臭気が高いことを確認しており、上記試験結果よりもゴム臭は低いと判断できます。